

—学 会 録 事—

### 1. 持ち廻り評議員会

昭和59年6月12日、次期(昭和60・61年度)会長候補者推薦のための持ち廻り評議員会が開かれた。その結果、評議員会では、阪井與志雄(北大・理)、千原光雄(筑波大・生)、正置富太郎(北大・水産)の三氏が次期会長候補者として推薦することとした。

### 2. 昭和60・61年度会長および評議員選挙

7月16日に投票用紙および選挙人名簿を発送して次期会長と評議員の選挙を実施した。8月13日に宮地和幸氏(東邦大・理)、大島海一氏(日大・農獣医・教養)立合のもとに開票が行われ、次の方々が次期会長および評議員に選出された。

会長 千原光雄

評議員

北海道地区 吉田忠生・山田家正

東北地区 谷口和也

関東地区 有賀祐勝・小林 弘・山岸高旺・  
堀 輝三・市村輝宜

中部地区 岩崎英雄・喜田和四郎

近畿地区 榎本幸人・巖佐耕三

中国・四国地区 月館潤一・大野正人

九州地区 右田清治・野沢治治

### 3. 評議員会

8月22日(12:00~13:20)、日本植物学会第49回大会開催中の北大教養部において評議員会が開かれ、後述の臨時総会に提出する報告事項と議題について審議された。審議内容は臨時総会報告と重複するので、その項を参照されたい。

出席者: 岩本康三会長、秋山 優・有賀祐勝・市村輝宜・梅崎 勇・奥田武男・阪井與志雄・千原光雄・堀 輝三・山本弘敏各評議員、金子 孝・吉田忠生各国際藻類学会世話人、今野敏徳庶務幹事。

### 4. 臨時総会

昭和59年8月22日、北大教養部における日本植物学会第49回大会第1日目(17:40~18:20)に臨時総会が開催された。岩本康三会長の挨拶に続いて、阪井與志雄氏(北大・理・海藻研)を議長に選出して議事に入った。

### I. 報告事項

1. 次期(昭和60・61年度)会長、評議員について、前出(2)の選挙結果が報告され、了承された。

### II. 審議事項

1. 第3回国際藻類学会議開催(昭和63年)要請について。

岩本会長からこの件に関する経過説明がなされ、また本会議開催についてはオーストラリア、カナリー諸島、中国が前向きに検討中との情報が披露された。また梅崎勇氏(京大・農)からは、昭和61年春に東南アジアの研究者をまじえた、海藻の応用面での東南アジア海藻シンポジウムを京都で開催したいとの考えが出され、それを当学会後援としてほしい旨の発言があった。

審議の結果、今春発足した国際藻類学会議検討委員会は委員が各地に散在して人数も多く審議が深めにくい事情があったために、現段階では諾否を未定とすること、今後は当委員会の一組織として東京とその周辺地区を主に5~6名程度のワーキンググループを設けて具体的な検討を行い、年末頃までに諾否の方向を会長が判断し、最終決定は来春の総会でを行う、ということが決まった。ワーキンググループの人選は岩本会長に一任することとした。

なお梅崎氏提案の件は、本会が国際藻類学会議開催要請を受け入れるという結論が出ればそれに組み入れる、ということで梅崎氏の了承を得た。

2. 第15回国際植物学会議(昭和68年)に対する本学会の姿勢について。

かねてより日本植物学会に対して国際植物学会議の日本での開催要請がきており、日本植物学会は本会にこれに対する意見を求めてきた。本学会としては、開催決定の場合経済的支援は不可能であるが、後援団体として名を出すことは差し支えないこととした。

### 5. 講演・懇親会

昭和59年8月22日(18:20~20:00)、北大教養部において、上述の臨時総会にひきつづいて恒例の講演・懇親会が開催された。吉田忠生氏(北大・理)の司会によって、有賀祐勝氏(東水大・植)「海鷹丸による南極海調査航海」の講演が行われた。懇親会は若手の方々への自己紹介を中心に、なごやかに進められた。

なお、講演・懇親会の開催にあたっては吉田忠生氏

はじめ北海道大学理学部植物分類学教室の方々にご尽力いただいた。厚く御礼申し上げる次第です。

参加者：秋岡英承，秋山 優，鯉坂哲朗，安部 守，有賀祐勝，安藤一男，飯間雅文，井上 勲，市村輝宜，岩本康三，梅崎 勇，榎本幸人，王 暁陽，岡崎恵視，奥田武男，長田敬五，加藤哲也，金子 孝，川井浩史，川口栄男，川嶋昭二，工藤利彦，熊野 茂，黒木宗尚，小林和博，小林秀明，今野敏徳，斉藤捷一，斉藤 譲，

阪井與志雄，瀬戸良三，多田匡秀，千原光雄，南雲保，野崎久義，能登谷正浩，芳賀 卓，馬場将輔，藤田大介，舟橋説往，堀 輝三，堀口健雄，増田道夫，松江和則，松永圭朔，松山恵二，水野 真，宮地和幸，本村泰三，簀 熙，山岸高旺，山田家正，山本虎夫，横浜康継，吉田忠生，リガヤ・C・サントス，渡辺真之

## 新 入 会

## 住 所 変 更

## 退 会

野沢美智子 (茨城県), 野村良嗣 (三重県), 坪井 悟 (広島県), B. N. PRASAD (外国)

- 
- 賛助会員**
- 北海道栽培漁業振興公社 060 札幌市中央区北4西6 毎日札幌会館内  
 阿寒観光汽船株式会社 085-04 北海道阿寒郡阿寒町字阿寒湖畔  
 有限会社 シロク商会 260 千葉市春日1-12-9-103  
 海藻資源開発株式会社 160 東京都新宿区新宿1-29-8 財団法人公衆衛生ビル内  
 協和醗酵工業株式会社バイオ事業本部バイオ開発部  
 100 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル  
 全国海苔貝類漁業協同組合連合会 108 東京都港区高輪2-16-5  
 K. K. 白壽保健科学研究所・原 昭 邦 173 東京都板橋区大山東町32-17  
 有限会社 浜野顕微鏡 113 東京都文京区本郷5-25-18  
 株式会社ヤクルト本社研究所 189 東京都国立市谷保1769  
 山本海苔研究所 143 東京都大田区大森東5-2-12  
 秋山 茂商店 150 東京都渋谷区神宮前1-21-9  
 弘学出版株式会社 森田悦郎 214 川崎市多摩区生田8580-61  
 神協産業株式会社 742-15 山口県熊毛郡田布施町波野962-1
-

## 投 稿 案 内

I. 編集の方針 本誌には藻学と応用藻学に関する会員の未発表の、論文・総説・短報（速報・短い調査報告など）雑録（抄録・採集地案内・分布資料・ニュース・所見・新刊紹介など）を掲載します。論文はデータや考察の独創性の有無に重点を置いた編集委員会の審査を経たのち受理されます。原稿の取捨掲載順序、体裁などは編集委員会および編集幹事で決めます。原稿は和文または英文とし、論文と総説は刷上り英文8頁、和文6頁、短報は1頁以内を無料とします。頁の超過は制限しませんが、頁の超過分、折込み、色刷りなどの費用は著者負担と報は2頁、雑録となります。和文原稿では5枚が、英文原稿では2枚が刷上り1頁となる見当です。

II. 報文の書き方 和文原稿は400字詰原稿用紙（横書きB5またはA4）に、当用漢字、新仮名使い（生物名は片仮名）を用い楷書体で書いて下さい。英文原稿は厚手タイプ用紙を用い、ダブルスペースで28行にタイプで打ち、十分な英文添削または校閲を経たのち提出して下さい。新種の発表や学名の記載に当っては国際植物命名規約に従って下さい。なお、アラビア数字・メートル法・摂氏温度を用い、学名などのイタリック体には下線1本、人名などのスモールキャピタルには下線2本、ゴシック体には波状線1本を記入して下さい。

例：*Batrachospermum ectocarpum* Sirod., Summary, sec, min, hr, nm,  $\mu$ m, mm, cm, m,  $\mu$ l, ml, l,  $\mu$ g, mg, g, N, M, ppm, lux, g(gravity), 25°C など。

原稿は、標題・英文要約（和文・英文原稿共）・本文・引用文献・和文摘要（英文原稿のみ）・表と図とその説明（英文）の順にまとめて1組とし、コピー共2組（写真は現物2組）にしてお送り下さい。

(1) 標題と要約 英文原稿では、欄外見出し・標題・著者名・要約の順に、和文原稿では、欄外見出し（英）・標題と著者名（和と英）・要約（英）の順に記入して下さい。要約は著者名・標題・雑誌名・まとめ（200字・必要に応じて400字まで）・著者と宛先の順に記入し、研究費に対する謝辞は脚注に入れて下さい。

(2) 本文 標題紙に記した以外の謝辞は、なるべく本文の末尾に入れて下さい。表と図は必ず本文中に引用（Fig. 1, Table 1 のように）し、文献の引用は次の例にならって、著者名と出版年および必要に応じて頁（単行本の場合）を明示して下さい。

例：…aquatic ecosystems (WELCH 1972, 1974), Liebig's (1840 p. 23) "law of the minimum" is..., …が知られている (YAMADA 1949), 岡村 (1907 p. 56) は、

(3) 引用文献 本文中で引用した文献のみを、別紙にアルファベット順に列挙して下さい。引用は、①原著の引用と、②図書目録を見て目的の書物を捜し当てるための引用の2本立てとし、それぞれがイ) 著者名 ロ) 出版年 ハ) 標題（巻次を含む） ニ) 対照事項（頁・図など） ホ) 出版事項（出版者・出版地）のうちの必要部分からなるよう順を追って下例にならって記入して下さい。

(単行本) ①, ②共通 広瀬弘幸<sup>1)</sup> 1959.<sup>2)</sup> 藻類学総説。<sup>3)</sup> 内田老鶴圃, 東京<sup>4)</sup>。

(単行本中の1章) ①DREBES, G.<sup>1)</sup> 1977.<sup>2)</sup> Sexuality.<sup>3)</sup> p. 250-283.<sup>4)</sup> ②In D. WERNER [ed.]<sup>1)</sup> The biology of diatoms.<sup>2)</sup> Blackwell Sci. Pub., London.<sup>3)</sup>

(叢書中の分冊) ①HUSTEDT, F.<sup>1)</sup> 1930.<sup>2)</sup> Bacillariophyta.<sup>3)</sup> ②In A. PASCHER [ed.]<sup>1)</sup> Sübwasser-Flora Mitteleuropas. ed. 2. No. 10.<sup>2)</sup> Gustav Fischer, Jena.<sup>3)</sup>

(雑誌の中の1論文) ①森 通保<sup>1)</sup> 1970.<sup>2)</sup> *Batrachospermum ectocarpum* SIROD. の分類学的研究。<sup>3)</sup> ②藻類 8<sup>4)</sup>: 1-8.<sup>5)</sup>

①MORI, M.<sup>1)</sup> 1975.<sup>2)</sup> Studies on the genus *Batrachospermum* in Japan.<sup>3)</sup> ②Jap. Journ. Bot. 20<sup>4)</sup>: 461-485.<sup>5)</sup>

(4) 和文摘要 英文原稿の場合のみ、和文で、著者名・標題・宛先も入れ400字以内にまとめて下さい。

(5) 表と図およびその説明 英文で書き、表と図は印刷頁の寸法（14×20.5 cm）、特に横幅（全幅 14、片段 6.6 cm）を考慮し、原寸大または縮小したとき印刷頁におさまる大きさに仕上げ、図には倍率を示すスケールを入れ、線や記号、文字、数字はタイプライター、レタリング用具などを用い黒インキで鮮明に記入し、そのまま印刷に廻せるようにして下さい。なお、特に表の組版を希望の場合はその旨明記して下さい。表と図の裏には著者名・番号・希望縮尺を記入して下さい。表と図の説明は別紙とし、それを入れる場所を本文原稿左欄外に明示して下さい。

III. 校正と別刷 著者校正は初校のみとし、編集幹事から送りますので、3日以内に校正して同封の別刷申込書に所定の事項を記入して返送して下さい。別刷は、論文・総説・短報に限って50部を学会で負担します。

### Information for Authors

Members of the Society are invited to contribute original research reports and short communications in Japanese or English on all aspects of phycology. Every research paper is read and criticized by reviewers on the basis of its originality and the discussion presented. Where appropriate, reviewers other than those on the Editorial Board are consulted. Final responsibility for selection and published order of papers rests with the Editor. Papers not longer than 8 printed pages in English and 6 printed pages in Japanese including figures and tables and short communications within 2 printed pages will be published without charge (exclusive of reprints). Additional published pages will be charged to the author (10,000 Yen perpage).

The manuscript should conform exactly to the following instructions. The **manuscript** should be typewritten, double-spaced, on thick paper of 21.5×28 cm or A4 size. Each typewritten page usually consists of 28 lines. Symbols, units and nomenclature should conform to international usage. The S.I. metric system should be used for all numerical data. Words to be printed in italics should be underlined. The original copy and one duplicate are required. The first page should have only the title, name(s) of the author(s) and institution with address, and any necessary footnote. A short running title should be included. Acknowledgements preferably follow the text but precede the references. Tables and legends for figures should be on separate pages and be placed after the references.

An **abstract** of not more than 200 words is required. At the end of the abstract, 5-10 Key Index Words should be given alphabetically for aid in indexing. A Japanese abstract will be provided by the Editor from translation of the abstract.

**References.** Citations in the text should read thus: LIEBIG's (1840 p. 23)..... or .....(WELCH 1972, 1974). In the list at the end of the paper, references should be typed in alphabetical order. Each reference should be given in the following order: Name, Initials, Date, Title, Journal Volume: first page-last page. Example:

MIKAMI, H. 1978. On *Laingia hookeri* (Rhodophyceae, Delesseriaceae) from New Zealand. Jap. J. Phycol. 26: 65-68.

A book title should be followed by the name of publisher and place of publication. Example:

ABBOTT, I. A. and HOLLENBERG, G. J. 1976. Marine algae of California. Stanford Univ. Press, Stanford.

**Tables** should be numbered with Arabic numerals, have a title, and be referred to in the text.

**Figures.** whether line drawings or photographs, should be numbered consecutively in Arabic numerals, and referred to in the text. The maximum size for a full page figure is 14×20.5 cm. Line drawings should be made with black ink on white paper or blue-lined graph paper. Letters and numerals should not be made by hand, but should be made neatly with a lettering device (not a typewriter) and be of such size that the smallest character will not be less than 1 mm high when reduced. The original drawing and one set of clear copies are required. Photographs must be of good quality. They should be grouped to conform to the page style and format of the Journal and preferably be submitted at a size that permits reproduction without reduction. Photographs should be submitted in duplicate. Coloured plates may be printed at the expense of the author. The insertion of tables and figures in the text should be indicated on the right-hand margin of the sheet.

**Proofs** should be checked carefully and should be returned by air mail to the Editor within three days of receipt. The author will receive 50 offprints free of charge. Additional copies can be ordered at cost on the reprint ordering form sent with the proofs.